

「スピード感」は、私が仕事をする上で、とても重要視していることのひとつです。職員の皆さんに対しては、常々、スピード感を持って仕事をするようお願いしています。であるからこそ、私自身が、まずは誰よりもスピード感を持って仕事を進めるべきとの思いで、日々スピード感を持って仕事をしているつもりであります。

先ほどの解説に、「決断や行動が遅れると、絶好の機会を逸してしまい、十分な成果が得られない可能性もあります」とありましたが、ある意味、「仕事も鮮度が重要」ということです。スピード感を持って新しいことにチャレンジすることは、誰もが勇気のいることだと思えますが、例えば、「“全国初”とか“県内初”とか、どこの自治体もやっていないからやる」くらいの気概でチャレンジすれば、成功の可能性も上がるだろうし、また、成功した時の喜びといたらおそらく喜び倍増となるでしょう。また、例えば、仕事上何らかのトラブルが発生した際に、すぐに対処するとか、市民から苦情等があった場合に、すぐに現場に駆けつけてまずは話を聞くとか、こうしたスピード感のある対応をするだけで、おそらくは問題が複雑化せずに解決することができるとも思います。こうした観点からも、スピード感を持つて仕事に従事することはとても重要なことだと思えます。そして、このことは、仕事をする上での八つの心得にある『悪い情報は、早急に事実を報告せよ!』にも繋がっていきます。

ただし、スピード感を持って仕事をしなさいというのと、やるべきことをやらずに、手を抜いてスピードだけを上げる人がたまにいます。くれぐれもそうした誤解をしないようお願いいたします。